

コウノトリ放鳥・生息環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H22 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		[環境基本計画]								
[事業目的]															
自然再生のシンボルであるコウノトリを越前市白山地区で引き続き飼育する。															
[事業内容]															
<p>(1) コウノトリ飼育 兵庫県立コウノトリの郷公園から借受けたつがいのコウノトリについて、越前市白山地区において飼育を継続する。 外部委託による専任飼育員による継続的な飼育を行い、効果的に飼育を行う。</p> <p>(2) 放鳥個体の追跡の実施 平成27年から平成30年に放鳥したコウノトリに装着したGPS発信機を用いて、飛来位置を追跡する。</p> <p>(3) コウノトリ定着推進会議の開催 コウノトリ定着推進会議を開催し、コウノトリの野外定着に向けた対策検討や放鳥後の生態調査を報告・検証する。</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		野外コウノトリが定着・繁殖できるよう越前市においては、ビオトープ整備など餌場環境の整備と地域住民への普及啓発に努め、県が主体で行っている飼育・繁殖事業については、越前市の職員を配置することにより、市と協同して事業を推進している。							
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価								
越前市王子保地区において野外コウノトリが産卵 越前市白山地区で生まれたコウノトリ3羽を9月に放鳥 福井県で放鳥したコウノトリ9羽の滞在先を福井県自然環境課の ホームページで情報発信			水鳥が飛来する地域を対象としたビオトープ整備の事業が完了				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

コウノトリ放鳥・生息環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	13,825			(繰入) 13,825			自然保護基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		20,264	18,840	22,892	24,309	13,825	水鳥が飛来する地域を対象としたビオトープ整備の事業が完了						
2月現計予算額の推移		20,264	14,840	18,383	16,284								
決算額の推移		17,152	12,980	15,373									
前年度までの 主な増減理由	H27～ 県職員が行ってきた飼育を外部委託による飼育に変更 産卵期以降の見守り体制を強化するため、警備員を配置 H29～H30 水鳥が飛来する地域を対象として、ビオトープを整備												
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	コウノトリの放鳥個体数 (目標)	(2)	(3)	(3)	(2)	(1)	H30までに10羽						
	実績	2	2	2	3								
活動指標	ビオトープ設置個所数 (目標)			(30)	(30)		H30までに6地区で各10か所ずつ計60か所 (30か所/年)						
	実績			2									
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

三方五湖・北潟湖自然再生事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎		
事業主体		三方五湖自然再生協議会、北潟湖の自然再生に関する協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H33 年度		
事業実施方法		負担金											□ 法定受託事務	■ その他
補助率		—												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		ビジョン [元気な社会] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]			関連する県の計画等		[三方五湖自然再生実施計画、環境基本計画]							
[事業目的]														
三方五湖では「三方五湖自然再生協議会（平成23年5月設立）」、北潟湖では「北潟湖自然再生協議会（平成30年11月設立）」において、地元市町と地域住民、農漁業者、研究者および県、市町が協働して地域に即した自然再生を行い生物多様性の保全を行うとともに、保全活動の成果や地域の自然の魅力を全国にアピールしていく。														
[事業内容]														
○三方五湖自然再生事業実施計画に基づき三方五湖の自然の保全、再生、活用を行う														
①実施主体 三方五湖自然再生協議会														
②負担金額 2,000千円（事業総額 8,000千円（国1/2、県1/4、若狭町1/8、美浜町1/8））														
③活動内容 三方五湖自然再生協議会全体会の開催 自然護岸再生、外来種対策、濁水防止のための普及啓発、水田養魚による地元産のフナ・コイの増殖、子どもラムサール（環境教育）の推進等														
○あわら市、農漁業者、地域住民、大学研究者が共働して北潟湖の自然の保全、再生、活用を行う														
①実施主体 北潟湖の自然再生に関する協議会														
②負担金額 1,000千円（事業総額 4,000千円（国1/2、県1/4、あわら市1/4））														
③活動内容 北潟湖自然再生協議会の開催、北潟湖自然再生実施計画の作成 水質改善、外来種駆除と希少な水棲昆虫の保全、小学生を対象とした環境学習の推進等														
[受益者] 三方五湖周辺の住民、北潟湖周辺の住民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖・北潟湖生物生息環境再生事業 (実績) [三方五湖] ・法定協議会「自然再生協議会」の設立(H23.5) ・自然再生フォーラムや観察会等の開催、カヤ田の保全、ヒシ刈り等の実施(H25~H27) ・ヒシの管理指針の作成(H27) ・水田養魚のマニュアルの作成(H27) [北潟湖] ・北潟湖の自然再生に関する協議会」の設立(H25) ・水田魚道の設置、魚類の育成効果を検証、地域の子供対象の魚観察会(H25~H27)、フォーラム・エクスカージョンの開催(H27)					市町との連携状況		三方五湖自然再生協議会では、若狭町と美浜町が県とともに事務局を担い、負担金を拠出している。 北潟湖の自然再生に関する協議会では、あわら市が事務局を担い、県とともに負担金を拠出している。					
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点					事業評価						
[三方五湖の主な実績] ・三方湖の大面積にヒシが繁茂し漁業被害等が懸念されていたが、大規模な刈取りを実施した結果、夏の繁茂が縮小した。 ・自然護岸再生の手引きを作成した。 ・アカミミガメ防除実施計画を作成した。 [北潟湖の主な実績] ・地域の自然再生活動の活発化を図るフォーラムを開催した。 ・自然再生法に基づく法定協議会を設立した。 ・現状や課題、今後の再生方針を記載した北潟湖自然再生全体構想を作成した。			[三方五湖] ・ヒシの刈取りによる水質改善等のモニタリングを行う。 ・自然護岸再生の手引きをもとに自然再生を実施する。 ・アカミミガメ防除実施計画により防除を実施する。 [北潟湖] 北潟湖自然再生協議会の全体構想に基づき自然再生実施計画の作成を行う。					□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	△1,000			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

三方五湖・北潟湖自然再生事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	三方五湖自然再生協議会、北潟湖の自然再生に関する協議会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H33 年度
事業実施方法	負担金								<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	—								<input checked="" type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,000			(繰入) 3,000		自然保護基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		3,184	3,000	3,000	4,000	3,000	北潟湖自然再生全体構想策定が終了						
2月現計予算額の推移		3,091	3,000	3,106	4,000								
決算額の推移		3,091	3,000	3,106									
前年度までの 主な増減理由	平成30年度は、北潟湖自然再生協議会（自然再生推進法に基づく協議会）の設立と全体構想の作成のための経費を計上												
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	協議会の開催	(目標) (5)	(5)	(5)	(5)	(3)	三方五湖自然再生協議会全体会の開催（1回/年） 北潟湖自然再生協議会（2回/年）※H30までは北潟湖自然再生に関する協議会（4回/年）						
		実績 7	5	5									
活動指標	自然再生活動数	(目標) (20)	(20)	(20)	(20)	(20)	三方五湖 18回（各6部会×3回/年）開催 北潟湖 2回/年開催						
		実績 14	25	25									
他県の状況	滋賀県琵琶湖 「内湖再生全体ビジョン（平成25年3月作成）による自然再生の推進 島根県・鳥取県中海 「中海自然再生実施計画（平成24年3月作成）による自然再生の推進 自然再生の推進（中海自然再生協議会（H20.11）作成）」					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方湖のヒシ対策事業 （役割分担） 三方五湖自然再生協議会においてヒシ刈りの実施試験を行い技術を確立。確立した技術等を用いて、ヒシ対策事業において重点的にヒシ刈りを行う。					

三方湖のヒシ対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	福井県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		[環境基本計画]						
[事業目的]													
<p>三方五湖の最上流部に位置する三方湖において、近年、湖面をほぼ埋め尽くすほどにヒシの分布が拡大している。三方湖のヒシ発生に伴い、漁業のための航路阻害や湖辺に堆積するヒシの枯死体から発せられる悪臭などの社会的問題、ヒシの群落内における水中の貧酸素化による生態系の悪影響、湖景観への悪化を解消するため、ヒシの刈取りを実施する。</p>													
[事業内容]													
<p>(1) ワイヤー刈取り費用 (10,560千円) ・実施時期：5～6月 ・ヒシの葉が湖面を覆う前に発芽区域全体を刈取る。 ・漁船に装着したワイヤーを引きながら、水深1～2mで葉が水面に出てくる前の若いヒシの茎を刈取る。</p> <p>(2) ヒシの回収 (3,870千円) ・刈取りしたヒシのうち、漂流し漁業等に支障をもたらすヒシは回収し、陸揚げして処分する。</p> <p>(3) モニタリング費用 (400千円) ・湖面に繁茂しているヒシの状況の航空写真を撮影し、ヒシ刈取りの効果を測定する。</p>													
[受益者] 県民						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況	若狭町が負担金を拠出する「三方五湖自然再生協議会外来生物等対策部会」において、ヒシの刈取りの繁茂または、刈取りによる、三方五湖の水質変化についてモニタリングを実施している。						
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
ヒシの刈取り方法について、機械刈取りよりもワイヤーによる刈取り方式が費用対効果が高いことが実証された。				平成31年度は、刈取り方式をワイヤーによる刈取りのみとする。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

三方湖のヒシ対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎	
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	14,830	10,381			4,449	電源交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点					
当初予算額の推移					18,052	14,830	刈取り方式を変更					
2月現計予算額の推移					18,052							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	ヒシ繁茂面積 (ha) (目標) 実績				(34)	(34)	三方湖ヒシ対策ガイドライン(三方五湖自然再生協議会外来生物等対策部会)のゾーニング計画に沿って平成18年～28年までのヒシの最小繁茂面積(34ha)程度を保全する。					
活動指標	ヒシ刈取り面積 (ha) (目標) 実績				(240) 200	(240)						
他県の状況	○諏訪湖に係る第6期水質保全計画(平成24年度から平成28年度) 「水草刈取船による諏訪湖のヒシ除去工事の実施(H25～長野県諏訪建設事務所)」 ○印旛沼に係る湖沼水質保全計画(第7期 平成28年～32年) 「印旛沼におけるオニビシの刈取り実施」					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖・北潟湖自然再生事業 (役割分担) ヒシの適正管理を行う手法開発として、平成25年から平成27年において、ヒシ刈取り専用船によるヒシ刈り実施試験の成果として「ヒシ対策ガイドライン」を作成。平成28年度からは、ワイヤー刈りによる低コストで効果的な管理手法の実証研究を実施。				

SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		[環境基本計画]								
[事業目的]															
福井・石川両県知事の共同代表のもと平成25年9月に発足した「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」を「SATOYAMAイニシアティブ」の理念を国内で共有するプラットフォームとして位置付け、SATOYAMAにおける生物多様性の保全や利活用を「国民的運動」へと展開する。															
[事業内容]															
<p>①国内におけるSATOYAMAイニシアティブの普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏における参加団体共同による活動の発信 <p>②里山等地域の保全や利活用に関する成果の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加団体の情報共有や集いの場の提供 ・活動の裾野拡大や質的向上を図るための有効な方策を検討 															
[受益者] SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク会員						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
9月に石川県で開催されたIPS17において、SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークの活動や福井県での活動の情報発信を行った。 9月に石川県で、3月に岐阜県で里山里湖での保全活動の現地視察等を行い、ネットワーク参加者どうしの交流、情報交換を図った。 東京で開催された日本最大級の環境展示会で福井県の里山里海湖の保全活動やネットワーク活動を全国に発信した。				セミナーの実施方法を見直す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△341				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	366			(繰入) 366		自然保護基金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		1,350	768	691	707	366	セミナーの実施方法を見直し							
2月現計予算額の推移		1,350	768	691	707									
決算額の推移		942	638	591										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク参加団体数	(目標) 106	(107) 106	(109) 108	(111)	(113)	新規登録団体 2団体/年							
活動指標	セミナーの開催	(目標) 4	(2) 2	(2) 2	(2)	(2)								
他県の状況	石川県と福井県が共同でSATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークを運営。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

「残そう・伝えよう！」身近な生きもの調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度							
事業実施方法	補助金																		
補助率	10/10																		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な里山里海湖] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		[環境基本計画]												
[事業目的]																			
地域と小学校が共働し、地域の身近な自然環境の保全・再生を行うため、子どもたちが地域の自然再生団体とともに継続的に身近な生きものの調査・保全活動を行う。																			
[事業内容]																			
<p>(1) 調査対象および内容 地域の宝となる希少な生物（県絶滅危惧種）を含む生き物の調査と保全について、地元の自然再生団体の協力を得なければ継続的に実施することが困難な活動を対象 (例) シャープゲンゴロウモドキ（昆虫）、ミチノクフクジュソウ（植物）、タマシギ（野鳥）など</p> <p>(2) 支援内容 ○補助対象 自然再生団体 10団体 ○補助内容 ・身近な生き物調査と保全活動および小学校での観察会の開催経費 ・生きもの観察調査資機材への助成 ・生き物の生息環境整備に必要な資機材</p>																			
[受益者] 小学生						[想定される受益者数] 350人													
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 身近な生きもの生息環境調査事業 (実績) 県内7ブロックごとに、身近な生きもの調査をするモデル校を指定し、トンボ、メダカ、積雪量の共通調査と学校独自の学校別調査を実施。 県内8小学校(302人)が参加					市町との連携状況		・市町教育委員会との連絡										
[事業の評価]																			
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価												
補助対象を学校から地元の自然再生団体へ変更し、生息環境整備と環境学習を合わせて自然再生団体が主体となって実施した。							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額									
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了										
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他										

「残そう・伝えよう！」身近な生きもの調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	補助金												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,000			(繰入) 2,000		環境保全基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		3,417	4,548	4,497	2,000	2,000							
2月現計予算額の推移		3,417	3,502	3,331	2,000								
決算額の推移		2,236	3,070	3,188									
前年度までの 主な増減理由	27→28：実施校の拡大（14から21校）による増 29～：調査票作成に係る委託料の減 30：講師の派遣費用を別事業と統合し、予算を縮減												
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	参加児童数	(目標) 500 実績 1,110	(800) 1,455	(800) 1,567	(350)	(350)	H26年度身近な生きもの生息環境調査事業8校302人参加 (H27) 302÷8≒38 (H28～H29) 38×14≒500、38×21≒800 (H30) 38×10≒350						
活動指標	支援団体数	(目標)			(10)	(10)							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

自然再生ふくい行動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H20 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H31 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[元気な里山里海湖]	政策	[豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]		関連する県の計画等		[環境基本計画]					
[事業目的]													
かつてはどこにでも見られた身近な動植物が、近くの小川や田んぼ、家のまわりなどで再び見ることができるよう、県民一人ひとりが身近な自然を守り育む県民活動を推進する。													
[事業内容]													
<p>自然再生支援隊の派遣 地域、団体、学校、企業等が行う里地里山の保全活動、自然環境保全活動、生き物調査などの技術的な指導や助言を行うため、専門家を派遣し、活動をサポートする。 [派遣回数] 100回/年</p>													
[受益者] 県民						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況						
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
<自然再生ふくい行動プロジェクト> ○プロジェクト参加登録数：178団体・46個人 ○自然再生支援隊派遣回数：20回 <いきもの百葉箱> ○登録数：187団体 計5,936人 ○講師派遣：16回				環境アドバイザー派遣事業に統合				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△646		
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

自然再生ふくい行動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	H20 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H31 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額																
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点									
当初予算額の推移		646	646	646	646											
2月現計予算額の推移		646	646	646	646											
決算額の推移		550	488	521												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	いきもの百葉箱・ プロジェクト登録人数	(目標) 実績	(19,000) 19,004	(19,500) 20,523	(20,000) 20,665		新規登録者 500人/年									
活動指標	いきもの百葉箱・自然再 生支援隊講師派遣回数	(目標) 実績	(100) 56	(100) 55	(100) 49	(100) 36	講師派遣回数 100回/年									
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									

実学研究の推進

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H34 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[元気な里山里海湖]	政策	[豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]	関連する県の計画等		[福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画]								
[事業目的]															
年縞や豊かな自然環境など、本県が誇るべき里山里海湖による恵みの価値を再認識し、生物多様性の確保と福井の豊かな暮らしの承継につなげるため、里山里海湖の恵みを人々の暮らしに結びつける工夫を研究する。															
[事業内容]															
4名の研究者が、以下の分野において、里山里海湖の恵みを人々の暮らしに結びつける工夫を研究する。															
【環境考古】 (31年度採用) . . . 年縞を基に、自然、歴史をひも解き、自然と人の暮らしとの関わりを明らかにする研究を推進 【保全生態】 石井 潤 . . . 里山、里海湖の生物多様性の保全・再生および生態系サービスの分析評価に関する研究 【里地里山文化】 (31年度採用) . . . 里に伝わる伝統（農法、漁法等）、文化、習俗等の資料を収集、活用して、 県民の生活や里山里海湖の資源を生かした経済活動につなげる研究 【森里川海連環】 宮本 康 . . . 県内を中心に、森から海にかけての生態系のつながりと人の暮らしの関わりに関する研究															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		研究の実施において、市町関係施設等との連携を図っている。							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
これまでの研究成果についての県民および各地域への発表会の実施および、地域における協議会等への参加などを通じて、研究成果の地域への還元に取り組んでいる。 30年度より、研究員が開発した効率的なヒシ刈り手法により三方湖でヒシ刈りを実施。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

実学研究の推進

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
補助率	—								□ その他			経過年数 6 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,095	150		(繰入) 7,945		(国庫) 科学研究費補助金 (繰入金) 自然保護基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		11,955	8,764	9,466	7,806	8,095							
2月現計予算額の推移		10,108	8,764	9,466	4,445								
決算額の推移		9,064	8,375	7,669									
前年度までの 主な増減理由	(27⇒28) 外部研究者と連携した外部資金の活用や、備品等の初期投資の減少により予算額を縮小 (28⇒29) データ分析や成果報告資料の作成等にかかる費用の増加												
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績						5年間の研究期間の途中年度毎に研究成果を数値化することは困難						
活動指標	研究テーマ数	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 2	(4)							
他県の状況	県レベルでの里山里海湖に関する研究を行う組織は他県にはない。					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

季節の移ろい発見事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営			経過年数					5 年			
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な里山里海湖] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		[福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画]					
[事業目的]												
<p>人の営みや生きものが季節に応じて移ろう様子を表す二十四節気などに見られる福井の生きものや気候などを、県民が参加して調査することにより、「身近な自然を発見」し、「人の営みと自然との関係」を体感することで、福井の里山里海湖の素晴らしさを県民自らが語り、次世代につなげる。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 調査方法 ・ 県民が年間を通じ、その時季ならではの生きものや体験を記録し、随時ホームページやFAX等で里山里海湖研究所に報告 ・ 中学校理科教員全員を研究所の研究推進員に委嘱し、生きもの等の調査を実施</p> <p>(2) 周知方法 ・ 「生きもので感じる福井の季節」を配付 ・ 研究所ホームページ、県広報誌等で周知 ・ 特定の生きものにテーマを絞った写真コンテスト（彼岸花、ススキを想定）のチラシを作成、公民館等に配布</p> <p>(3) 活用方法 ・ 研究所ホームページで公開し、県民が季節ごとの福井の自然を楽しみ、学ぶ ・ 調査結果を研究推進員がそれぞれの学校で環境教育に活用</p>												
[受益者] 県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
小学校4年生向け「身近な生きもの観察シート」（4季）を配布。 研究所のホームページに追加した「福井の生きもの歳時記」ページで、投稿のあった情報を随時公開した。 中学校理科教員236名を研究推進員に委嘱し、季節の生きもの調査等に参画してもらう。			「身近な生きもの観察シート」等の印刷物の見直しを行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△1,229		
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

季節の移ろい発見事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	894			(繰入) 894		環境保全基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		3,236	2,306	2,294	2,123	894	印刷物の見直し						
2月現計予算額の推移		3,236	2,306	1,723	1,341								
決算額の推移		3,092	1,945	1,631									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	応募数 (目標) 実績					(200)	1コンテストあたり100件×2回						
活動指標	写真コンテスト企画数 (目標) 実績					(2)							
他県の状況	年間通じた季節の移ろいの様子を調査するものはない。					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

森と海湖のつながり体感事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度	
事業実施方法	委託												
補助率	—												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[元気な里山里海湖]	政策	[豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]		関連する県の計画等		[福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画]					
[事業目的]													
<p>学びの森における体験活動をとおして、人の暮らしと里山との関わりを学ぶ機会を提供する「福井ふるさと学びの森」事業（H26～）を発展させ、参加者が他地域でも活用できるように、より実践的な学びの森活動を加えていく。また、海、湖、川を自然体験の場とする「福井ふるさと学びの海湖」団体（平成30年度に設定予定）と、学びの森団体との連携を図ることで、森と海湖のつながりを学べる環境づくりを推進する。</p>													
[事業内容]													
<p>(1) 福井ふるさと学びの森の運営 ○学びの森 若狭エリア の運営 場所： 若狭町気山（民有林） 内容： ・一般県民を対象とした体験プログラムの実施（3回） ・小学校、幼稚園、保育園への里山学習の機会を提供（3回） ・里山林の保全作業の実施 ○学びの森 あわらエリア の運営 場所： あわら市波松（民有林）あわら市北潟（国有林） 内容： ・一般県民を対象とした体験プログラムの実施（3回） ・小学校、幼稚園、保育園への里山学習の機会を提供（3回） ※ 奥越エリアは自然保護センターで、「四季の観察シリーズ」とタイアップして実施。</p> <p>(2) 福井ふるさと学びの森・海湖ネットワーク事業 「ふるさと学びの森（または海湖）」として県内のネットワーク化を図るとともに、県内外へ情報発信を行う。 ① 登録団体の活動を一括して情報発信 ② 登録団体へ自然再生支援隊やふるさと研究員を派遣 ③ 安全性の向上のための合同研修会兼情報交換会を開催 ④ 森林保全活動や学びの森の活動に対し資機材の無償貸与</p>													
[受益者] 県民						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 (実績) 若狭町気山で長期間放置され荒廃が進んでいた民有林を借りて「福井ふるさと学びの森」を開設。8回の体験イベントを実施し、241人が参加。					市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価						
H30 ・県直営の学びの森事業実施回数 9回（各エリア3回） ・学びの森ネットワーク大会 おおい町で開催			県直営の事業は、保育体験や竹林管理講習などの実践的な内容を組み入れ。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

森と海湖のつながり体感事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,129			(繰入) (諸) 5,105 24		(繰入金) 環境保全基金、(諸収入) 参加者実費負担分							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		13,454	7,878	6,110	5,159	5,129							
2月現計予算額の推移		13,454	7,878	6,110	5,159								
決算額の推移		12,949	7,761	5,720									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	森団体と海湖団体の連携 企画数 (目標) 実績					(1)	海湖の登録団体が確定していない現時点では、県内で1回を目標						
活動指標	ネットワーク事業開催回 数 (目標) 実績					(2)	森1回、海湖1回						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

里山里海湖リーダー育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H34 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な里山里海湖] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		[福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画]						
[事業目的]													
地域で頑張る自然再生団体等のレベルアップを図るため、自然再生団体の指導者等を対象とした里山活動のトップクラス講師による講座や活動事例発表会を実施する。													
[事業内容]													
県内で里山里海湖の保全・再生・活用に取り組む活動者を対象として、県内外からの先進的な事例等を学ぶ講座や活動事例発表会を実施する。													
<ul style="list-style-type: none"> ○開催日時 平成31年12月(予定) ○実施場所 国際交流会館 ○受講者 自然再生団体の指導者等40名 ○内容 里山里海湖に関する座学、活動事例発表、意見交換会 													
[受益者] 県民						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価						
里山里海湖における地域資源の活用などをテーマとした連続講座を実施し、87人(3回)参加。			講座の実施方法を見直し、より実践的な内容の講座を開催。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△61			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

里山里海湖リーダー育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	198			(繰入) 198		自然保護基金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		394	431	431	259	198	講座の実施方法を見直し							
2月現計予算額の推移		394	431	431	259									
決算額の推移		393	415	429										
前年度までの 主な増減理由		(29→30) 開催回数5回→3回												
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	講座参加者数	(目標) (200)	(200)	(200)	(120)	(40)								
		実績 172	218	213										
活動指標	講座実施回数	(目標) (5)	(5)	(5)	(3)	(1)								
		実績 5	5	5										
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

里山里海湖活動者表彰

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な里山里海湖] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		〔 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 〕												
[事業目的]																			
地域で頑張る自然再生団体等の里山保全・再生・活用に関する活動を幅広く表彰し、県が活動者を積極的に後押しすることにより、県内の里山里海湖保全・再生・活用に関する活動機運の醸成を図る。																			
[事業内容]																			
○表彰対象 県内の里山里海湖を「守る・学ぶ・活かす・伝える」活動に取り組む地域団体、NPO、学校、企業など																			
○表彰者数 7団体程度																			
○表彰実施時期 年度末に開催する研究発表会と同時開催を想定																			
[受益者] 県民						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況	表彰団体候補に関する照会をかけ、市町長から候補者を推薦												
[事業の評価]																			
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価											
県内の里山里海湖の保全・再生・活用に取り組む5団体を表彰				里山里海湖研究所管理運営費に統合				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額								
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△162								
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他									

里山里海湖活動者表彰

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額																
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点									
当初予算額の推移		229	229	229	162											
2月現計予算額の推移		229	229	229	162											
決算額の推移		165	198	88												
前年度までの 主な増減理由	(29→30) 表彰者実績に応じて想定団体数を10→7団体へ見直しに伴う減															
[成果指標等の推移]																
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	表彰団体数累計	(目標) 13	(24) 19	(31) 24	(38)		県内での里山里海湖の保全・再生・活用等に関する活動の盛り上げを醸成し、多くの活動団体を表彰していく									
	実績															
活動指標	表彰団体数	(目標) 6	(7) 6	(7) 5	(7)		毎年県内で活動に取り組む団体を表彰									
	実績															
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									

里山文化体験講座

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H34 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[元気な里山里海湖]			関連する県の計画等	[福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画]									
[事業目的]																			
<p>里山里海湖研究所の来所者に対し、地域のお年寄り等を講師に里山里海湖の伝統的な人の営みを題材とした気軽な体験メニューや周辺の自然環境を活かした体験メニューを提供し、里山里海湖の魅力を幅広い世代に伝える。</p>																			
[事業内容]																			
<p>(1) 里山里海湖研究所自然観察棟において、来所者が気軽に体験できるメニューを提供（ゼロ予算）</p> <p>○体験メニュー 松ぼっくりアート、どんぐりアートなどの工作 野鳥観察、研究内容の紹介 等</p> <p>○指導者 里山里海湖相談員</p> <p>(2) 時節に応じた特別企画を開催 自然観察棟周辺の自然環境を活かした植樹や生き物観察など、来所者が縄文ロマンパーク一帯で里山文化を体感できる企画を実施する。</p> <p>○開催日 年12回（月1回） ○場 所 里山里海湖研究所および縄文ロマンパーク周辺</p>																			
[受益者] 県民						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況													
[事業の評価]																			
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価											
6月、11月に特別企画を開催したほか、ミニ特別企画も開催し、214名が参加（1月末現在）した。				体験メニューの見直しを行い、時節に応じた企画を数多く開催。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額								
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△392								
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他									

里山文化体験講座

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	987			(繰入) 987		環境保全基金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		1,907	861	861	1,379	987	体験メニューの見直し							
2月現計予算額の推移		1,907	861	861	809									
決算額の推移		1,422	850	636										
前年度までの 主な増減理由	(27⇒28) 27年度に若狭町シルバー人材センターと連携し事業を実施したことにより、安価に事業実施が行えたため、28年度予算額を縮小 (29⇒30) 年2回の特別企画を開催するため増額													
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	来所者数 (目標)	(6,000)	(10,000)	(15,000)	(15,000)	(15,000)	展示・体験メニューの充実を図り、来所者数の増加を目指す							
	実績	12,865	15,812	12,441										
活動指標	時節に応じた企画イベント数 (目標)	-	-	-	(2)	(12)	毎月1回							
	実績	-	-	-										
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

元気なふるさとの里山整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木 真二郎		
事業主体	ふるさとの里山整備団体				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H30 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営、補助										経過年数	2 年		
補助率	10/10										事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な里山里海湖] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		[福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画]							
[事業目的]														
地域住民と企業社員や学生等が協力して、荒廃する里地里山の整備・保全を行うことにより、地域の里地里山の環境を向上するとともにとともに、地域活動を活性化させる。														
[事業内容]														
(1) 里山整備希望地区の調査・募集 (2) 地区との整備活動を希望する企業・学生の募集 (3) 整備希望地区と企業等のマッチング (4) 整備計画の作成 ・自然再生士、自然再生支援隊の派遣 (5) 里地里山の整備（ふるさとのシンボルとなる森、遊歩道、展望台、憩いの広場など） ・整備に必要な原材料費、重機リース代、オペレーター人件費等への補助 ・資機材の貸出し ・自然再生士、自然再生支援隊の派遣 ・参加企業社員・学生等の移動旅費（バス代）、保険料 (6) 整備後のフォロー ・参加企業等および整備集落住民の意見を整備効果とともにHPで公開														
[受益者] 周辺住民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
平成30年度は1地区で実施			平成31年度以降は3地区で実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

元気なふるさとの里山整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木 真二郎		
事業主体	ふるさとの里山整備団体					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H34 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	779	389			390	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移					480	779	平成31年度以降は3地区で実施						
2月現計予算額の推移					100								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	企業等参加団体数 (目標) 実績				(1) 1	(3)							
活動指標	活動地区数 (目標) 実績				(1) 1	(3)							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

年縞博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		[環境基本計画]								
[事業目的]															
水月湖年縞および平成30年9月にオープンした年縞博物館の認知度を高め、県内外からさらに多くの方々に来館いただくため、1周年を記念した特別企画展を実施する。															
[事業内容]															
<p>概要：人類にとって、自然は恵みであり、乗り越えるべき試練でもあった。環境への適応を模索した人間社会は、やがて約5千年前に古代国家を誕生させた。その代表的な文明の一つが、エジプト。2019年度は、年縞研究のなかでも特に古気候学の観点から、エジプトを紹介する特別展を企画。年縞が解き明かす人類史の啓蒙を図る。</p> <p>テーマ：特別企画展「年縞が解き明かすナイル川の自然環境と古代エジプト文明（仮）」</p> <p>時期：2019年8月1日～9月30日 61日間（仮）</p> <p>展示構成：①ナイル川の古環境（カルーン湖の年縞） ②古代エジプト文明の秘宝（古代エジプトの出土品） ③気候変動と文明</p> <p>特別講演：企画展開催中に1回実施</p>															
[受益者] 来館者						[想定される受益者数] 8,000人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 年縞博物館開館記念事業 (実績) 平成30年9月に年縞博物館が開館するに当たり、世界の年縞の研究・教育の拠点として、年縞の魅力を県内外に発信するため、特別企画展を開催					市町との連携状況	若狭町と集客等について連携して実施								
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
・特別企画展「最初の福井人」(H30.11.17～H31.1.20) 第1部(年縞博物館) ～福井への道のり～ 企画展開催期間中の来館者数：8,124人 第2部(縄文博物館) ～福井への定着～ ・特別企画展記念講演(H30.12.9) 講師：馬場 悠男 氏(国立科学博物館人類研究部名誉研究員)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

年縞博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	4,793	2,396		(諸) 600	1,797	(国庫) 地方創生推進交付金 (諸収入) 企画展図録販売収入							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移					1,491	4,793							
2月現計予算額の推移					1,491								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由	平成30年度は開館記念イベントの一つとして企画展を実施												
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	企画展開催期間中の来館者数 (目標)				(8,000)	(8,000)							
	実績				8,124								
活動指標	特別企画展開催件数 (目標)				(1)	(1)							
	実績				1								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 調査研究および資料収集事業 (役割分担) 収集した資料を企画展等で公開						

海浜自然センター特別企画事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				関連する県の計画等		[環境基本計画]								
[事業目的]															
センターの活用や来館を促進するため、主催事業や出張講座、個人受入講座の内容を紹介するとともに、福井の海湖（うみ）に親しみ、環境保全意識の高揚や海産資源の消費拡大に向けた特別企画を開催する。															
[事業内容]															
<p>①楽しもう！福井の海湖（うみ） イベント 5月11日（土）・5月12日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者に海岸清掃やゴミの回収・分別に協力してもらい、海湖をきれいにする事の大切さを感じてもらおう。 ・回収した漂着物を使い、アート作品にリサイクルして環境保全意識を高める活動を行う。 ・センター周辺で外来種（アメリカザリガニ等）の捕獲体験を行う。 等 <p>②開館20周年 ありがとう！福井の海湖（うみ） イベント 7月14日（日）・7月15日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館20周年記念のセレモニーを開催する。 ・関係各機関に依頼し、海湖の資源保護や活用に関する講演会やクイズ大会を行う。 ・福井の海湖（うみ）に関連する資源を活用したクラフト講座を行う。 等 															
[受益者] 来館者						[想定される受益者数] 10,000人									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		・県立大学、水産試験場、各地区教育委員会・小学校、各地区観光協会等との連携 ・若狭町ツーデーマーチ、若狭町祭「若祭」への参加協力 ・海岸清掃時のゴミ処理については、ボランティア活動として処理費用を免除（若狭町）							
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価								
・5月12,13日「海湖（うみ）の体験を楽しもう！」 5,404人 ・7月15,16日「海湖（うみ）の体験とナイトアクアリウム」 7,564人							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

海浜自然センター特別企画事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,488			(繰入) 2,488		自然保護基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		2,557	2,557	2,566	2,626	2,488							
2月現計予算額の推移		2,557	2,557	2,566	2,626								
決算額の推移		2,330	2,557	2,566									
前年度までの 主な増減理由	・26年度はリニューアルオープン記念式典を実施し、これに伴う式典運営、告知用パンフレット印刷等を行ったため、27年度以降は減額。												
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	来館者数	(目標)	(110,000)	(120,000)	(120,000)	(120,000)	(120,000)	GW明けに1回目のイベントを開催し、環境保全の啓発をする。来館者の落ち込む冬の前に2回目のイベントを開催し、新しい客層を獲得し、秋・冬の来館者増を図る。					
		実績	122,329	118,849	118,105								
活動指標	イベント来場者数	(目標)	(12,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	H30探してみよう！海湖（うみ）の宝物（5,000人）、大事にしよう！海湖（うみ）の宝物（5,000人）※前年度の集客をもとに算出					
		実績	15,530	9,418	11,679	12,968							
他県の状況	石川県のとじま水族館（宿泊体験等の企画イベントを実施）					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自然体験講座開催事業 （役割分担） 当センターの自然体験講座開催事業について紹介したり、参加の予約を受け付けたりするなど、講座参加率向上を図る。					